

## 平成21年度 第1回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成21年5月21日（木）午後2時～3時15分

2 開催場所 浦安市文化会館 3階 中会議室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、梅澤副委員長、宇田川委員、下田委員、高橋委員、田中委員、津矢田委員、前田委員、森委員、山本委員

（事務局）

教育長、生涯学習部長、同次長、生涯学習部副参事（運動公園施設整備担当）、生涯学習課長、視聴覚ライブラリー館長、郷土博物館長、青少年センター所長、青少年センター主幹、市民スポーツ課長、市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長代理、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長代理、生涯学習係

4 議題

（1）臨時会議内容の確認

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（3件）

（3）報告事項

1）社会教育関係団体の解散の報告について

2）平成20年度 事業実績報告について

3）みんなのスポーツの集いの開催について

（4）その他

5 議事概要及び会議経過

（1）臨時会議内容の確認

平成21年度臨時社会教育委員会議事録（議事要旨）の内容を確認した。

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（3件）

生涯学習課長より概要を説明し、「たけのこ囲碁サークル」「ガーデントーククラブ」の認定を承認した。なお、「エール」については、会員数を増やすことに努めることを条件として認定を承認した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

**たけのこ囲碁サークル**

（質問）設立されてから9年になるが、どうして今申請をしてきたのか。

（回答）女性のメンバーが増えたことなどから、活動を充実させたいとのことである。

（質問）現在、囲碁の団体はどの程度あるのか。

（回答）2団体が認定を受けているほか、公民館定期利用の団体もある。

（質問）会員数は29人であるが、21年度の会費収入の積算は24人となっている。会費を取っていない会員がいるということか。

（回答）予算なので、年度中の休会や退会を含めた見込みとしての人数と思われる。

- (質問) 21年度の利子収入が20円となっている根拠は何か。
- (回答) 20年度の決算額に合わせて積算したものと思われる。
- (質問) 会則に会の所在地が記載されていないが、誰に連絡を取っているのか。
- (回答) 基本的に会長に連絡をしている。今後、記載するように指導する。
- ガーデントーククラブ**
- (質問) 設立されてからまだ1年であり、会費は今年から集めているとのことである。実績がないのではないかと。
- (回答) 活動は19年9月から行われており、当初は会員同士が学びあう活動をしてきたため、特に会費などは必要なく活動をしてきたということだが、今後さらに活動を広めていくために新たに会費を設けたとのことである。
- (質問) お互いに学びあう活動とのことだが、もう一歩進めて、外部の講師を招くということも必要ではないかと。
- (回答) 代表の方が認定資格を持っており、講師を兼ねていると思われる。
- エール**
- (質問) 活動場所が複数の公民館になっているが、場所ごとに分かれて活動をしているということか。
- (回答) 公民館の定期利用団体ではないので、その都度予約できた場所で活動しているということと思われる。
- (質問) 認定団体は公民館の利用についても優先されるのではないかと。
- (回答) 公民館の定期利用団体と認定団体とは別であり、そのような措置はない。定期利用制度については、一つの公民館を拠点に活動していただくため、他の公民館利用は控えていただくが、一般の団体はどの公民館を利用してもかまわない。
- (質問) 認定を受けたら、活動場所をどこか一か所に決めて優先的に活動できるようになるのではないかと。
- (回答) 定期利用団体は、認定団体であることが条件ではない。公民館活動を充実していただき、組織的に活動が進められていて、しかも地域に活動が還元されているか、公民館事業への協力があるか、仲間を増やしているかということを見ながら判断している。一般の団体の利用も増えているため、定期利用制度については課題になっている。
- (質問) 会員の推移が不明なので、19年度の決算報告もあるとよい。現在は10名しかいないが、これより少なくなったときに、講師謝礼金が減るのか、それとも定額なのか。
- (回答) 認定団体の要件は10名以上であり、要件としては満たしている。講師謝礼金については、1回につき5,000円ということである。
- (意見) 会員数を増やしていただくよう努めることを条件として承認してはどうか。

### (3) 報告事項

- 1) 社会教育関係団体の解散の報告について  
生涯学習課長より報告した。
- 2) 平成20年度 事業実績報告について  
各担当課(館)長より内容を説明した。  
また、公民館の事業実績報告資料について修正があった。  
委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

### 生涯学習課

(質問) 高洲公民館の進捗状況はどうか。

(回答) 今年度工事に向けてスタートしているが、建築確認等で若干遅れている。正式な開館予定日などは未定である。

### 青少年センター

(質問) 青少年補導員は何人くらいいるのか。

(回答) 平成20年度については106名の方が活動している。

(質問) 相談を受ける人は増えているのか、減っているのか。また、主だった内容はどんなことか。

(回答) 前年度から50件くらい増えている。内容については、問題行動、学校での問題、家庭や自分自身の問題、職場での問題など、幅広く相談いただいている。

### 市民スポーツ課

(質問) 「市民」と「市民等」の違いは何か。

(回答) 市外からも参加できる場合は市民等とし、市民でなければ参加できない場合は「市民」としている。

(質問) 「市民団体」というのはどういう意味か。

(回答) 学校体育施設の開放については、10名以上で登録して活動してもらうので、市民による団体という意味で市民団体としている。

(質問) 東野プールでの事故はなかったか。

(回答) 昨年度はなかった。

### 公民館

(質問) 実施統計の対象別の事業数・総回数について、青年(15~30歳)が0なのはなぜか。

(回答) 対象者を15~30歳と限定している事業はなかったため、事業数・総回数は0となっている。別の区分の中には含まれている。

(質問) 対象別の「その他」とは何か。また、事業をどのように評価して、次の事業につなげているか。

(回答) 「その他」については、外国人や障がい者が含まれる。事業の評価については、参加者数による評価以外に、終了後のアンケート等により開催日時や内容、市民が積極的に参加できるような体制などを検討していく。

(回答) 当代島公民館で「その他」の総回数が多いのは、体育館や広場の一般開放など、不特定多数の市民が利用する事業を含むためである。

### 中央図書館

(質問) 一人当たりの貸し出し冊数はどうか。

(回答) 平成20年度も前年度比増となっており、一人当たりの貸し出し冊数は13.6冊である。

3) みんなのスポーツの集いの開催について

市民スポーツ課長より説明した。

### (4) その他

生涯学習部長から、委員の任期満了に対し謝意を述べた。

以上